

Think Globally Act Locally (Vol.3)

ボランティアのすすめ

先日、地域の広報誌を何気なく見ていたところ、ボランティアについての特集が載っていました。多くの分野でボランティアを募集しているのだということに、改めて気づきました。実際のボランティア募集のみではなく、ボランティアを進めるための市民講座もいくつかありました。ボランティアそのものには、まだちょっと踏み出せない人は、こういうところで話を聞くのもいいかもしれませんね。中学生、高校生向けのボランティア募集で最も多かったのは、幼稚園、保育園でのお手伝いでした。将来の進路として保育の分野を考えている人などには、このような機会を自分のために利用するのもいいと思います。世の中の様々な仕事には、外から見たのではわからない苦労があります。今のうちにちょっとのぞいてみるのはいかがでしょうか。小さな子供たちはとても正直です。触れあううちにこちらがハッとさせられるような純粋な見方に会えるかもしれませんね。

この「ボランティアのすすめ」でも以前に述べていますが、ボランティアというものは、通常私たちがイメージする「人のために無償で何かをする」だけのものではありません。社会と積極的に触れあうことそのものが広い意味でのボランティアなのです。皆さんは、朝学校に出かけるとき、近所の人と笑顔で挨拶を交わしているでしょうか。笑顔の挨拶は本当に気持ちのいいものです。極端な例えかもしれませんが、近寄りがたいほどの派手な外見の人でも、笑顔で挨拶を交わしてくれる人は、相手に好印象を与えます。相手をほんの少し幸せにしてあげられます。逆にどんなにきちんとした格好をしていても、挨拶をしてくれない人は相手を不快にさせてしまいます。にこやかな挨拶、さわやかな挨拶、これも立派なボランティアかもしれませんね。

ヨーロッパでは人が一人前と認められるには三つの条件が必要とされているそうです。一つはよき家庭人であること、二つ目はよき企業人であること、そして三つ目はよき地域人であること。皆さんの場合は二つ目がよき学徒ということになりますね。三つ目のよき地域人、これが近年の日本人のもっとも苦手としているところでしょう。ほんの少し、地域と社会と触れあうことを心がけてはどうでしょうか。

東京都の広報に紹介がありましたが、「2001夏！体験ボランティア」と銘打ち7月～8月にかけて高齢者、障害者、児童、保健医療、国際関係、環境保護などの分野で約六千人のボランティアを募集するようです。東京都のボランティア・市民活動センターで詳しい資料を配付しているようですが、学校にも資料はおいてあります。興味のある人はボランティア関係の教員に声をかけてください。また自分で調べてみたい人は、東京都ボランティア・市民活動センター（Tel：03-3235-1343）に連絡してください。

前号でお知らせしたように、実際にボランティアを体験した人たちからの体験談がいくつか寄せられていますので紹介します。

空き缶拾い

家の近所の空き地は、清掃する人もなくゴミの不法投棄も目立つため、自分でできる範囲で空き缶やペットボトルなどを拾ってみました。約120個ほどの空き缶やペットボトルを拾い、すぐ側の資源回収ボックスに入れましたが、このボックスのすぐ側にも多くの空き缶やペットボトルが捨ててありました。みんなが美しい町作りや資源の有限性について考えればこのようなことはなくなるのではないかと思いました。

(中一女子)

(提出してもらった報告書をもとに生徒部で文章におこしました)

噴水掃除のボランティア

私たちは今まであまりボランティアに興味がありませんでした。でもこの学校の噴水を見てどうにかしなければと思い立ちあがりました。実際やってみて楽しかったし役にも立てた気がしました。たちが掃除をしていると、後輩が差し入れをしてくれました。ボランティアとは見返りを望まないものですが、そのときとてもうれしかったです。

きっかけは些細なことでしたが、これを機にもっともっとボランティア活動をしていきたいと思えます。

(中三女子有志6名)

白寿荘でのボランティア

ボランティア部より

ボランティア部の活動は主に老人ホームの訪問と、切手、テレホンカードの回収、校内での募金活動です。ボランティア部となってまだ日が浅いですが、これからの活動は、もっと充実させていきたいと思っています。

私たちボランティア部と一部生徒の計10名で、5月26日に駒場東大前の近くにある白寿荘という老人ホームを訪問しました。白寿荘では、掃除をしてからその施設にいらっしゃる高齢者の方々と交流します。交流は、主に高齢者の方々と会話をすることですが、今回は、ゲートボールをした人たちもいました。白寿荘では自分たちが日頃あまり会話を交わさない世代の方々の貴重な話を伺えたので、とても有意義な時間が過ごせたと思います。

参加した生徒より

以前より老人ホームでのボランティアに興味がありましたので、今回のボランティア部の活動に参加してみました。明るい挨拶とはきはきとしゃべることを心がけてかつどうをしました。当初、老人ホームで働くということは、お年寄りの方々のお世話をするだけだと思っていたのですが、ホーム内の清掃など多くの仕事があり、かなりハードなものだということがわかりました。自分も窓ふきなどをしてからお年寄りの方たちとお話をさせていただきました。時々何をはなしてよいのかわからなくなり少し黙ってしまうこともありましたが、この体験を通じて多くのものを学べたような気がします。

(提出してもらった報告書をもとに生徒部で文章におこしました)

(高一女子)